

舞台スタッフコース

- 作曲コース
- デジタルミュージックコース
- 指揮コース
- サウンドリテラシーコース
- ピアノ演奏家コース
- ピアノ指導者コース
- ピアノ音楽コース
- オルガンコース
- 電子オルガンコース
- 弦管打楽器コース
- ジャズコース
- ポピュラー音楽コース
- 声楽コース
- アトナリズムコース
- 舞台スタッフコース
- 音楽療法コース
- ミュージカルコース
- バレエコース

試験科目	内容	注記	A O	給 費 生	公 募 推 薦	一 般 前 期	一 般 後 期
1 主科に関わる 課題	以下の(1)または(2)のいずれかを選択して受験する (1)小論文 60分・800字以内(表現力や自分の考えをまとめる能力をみる) (2)音楽実技 以下の(a)~(c)のいずれか1つを選択 (a)歌唱 イタリア古典歌曲または日本歌曲の中から任意の1曲。原語で歌う(暗譜でなくてもよい)。 (b)器楽演奏 任意の楽器による自由曲1曲。使用楽器は器楽学科に設けているコースの楽器から任意に選ぶ(暗譜でなくてもよい)。 (c)ポピュラー演奏 下記の①~⑧による自由曲(ポピュラー曲)1曲(暗譜でなくてもよい)。 ①ピアノ ②ギター ③ベース ④サクソフォン ⑤トランペット ⑥トロンボーン ⑦ドラムス ⑧ヴォーカル	※(2)の音楽実技について。 (a)の場合、ピアノ伴奏は大学側で準備する。楽譜を出願時に提出すること。 (b)の場合、ピアノ、オルガン、電子オルガン、大型楽器以外の楽器は各自持参すること。受験曲の演奏には伴奏はつけない。 (c)の場合、ピアノ、ドラムセット等大型楽器以外は各自持参すること。 ②③④⑤⑥⑧は、ソロ(アカペラ)または伴奏付き。伴奏の種類はピアノ伴奏または音源による伴奏とする。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合は、演奏する楽器(またはヴォーカル)を抜いたCDまたはMDを出願時に提出すること。 注:(c)ポピュラー演奏を選択した場合、入学後の実技レッスンは受ける事ができませんのでご注意ください。	○	○	○	○	○
2 主科面接	志望理由書をもとにした面接	※舞台芸術に対する意欲と関心の度合いを重視する。	○	○	○	○	○
3 A O面接		※AO面接は主科面接の中で行う。	○				
4 給費生作文	指定する作曲家のうち一人を選んでその伝記を読み、試験当日に課題作文を書く。(60分) 詳細は●ページに記載。	※伝記は単行本に限り、辞書・辞典類の項目は認めない。当日参照不可。		○			
5 給費生面接				○			
6 一般科目	A. 本学で行う以下の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験(45分) (a)英語(I・II) (b)国語(国語総合、国語表現I、ただし古文・漢文を除く) (c)数学I					○	
	B. 大学入試センター試験の成績を利用する 以下の(a)~(f)の中から2教科2科目を選択 (a)国語 (b)地理歴史 (c)公民 (d)数学 (e)理科 (f)外国語	※「国語」「地歴」「公民」「数学」「理科」「外国語」について3教科・3科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目毎100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細については38ページを参照。					○